

14時30分解禁

平成21年10月 全国百貨店売上高概況

平成21年11月19日

I. 概況

1. 売上高総額	5,135億円余
2. 前年同月比	-10.5% (店舗数調整後/20か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 270店 (平成21年9月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,593,228㎡ (前年同月比:-3.1%)
5. 総従業員数	99,368人 (前年同月比:-1.9%)
6. 3か月移動平均値	3-5月 -12.3%、4-6月 -10.8%、5-7月 -11.0%、 6-8月 -9.9%、7-9月 -9.7%、8-10月 -9.1%

[参考] 平成20年10月の売上高増減率は-6.9% (店舗数調整後)

【10月売上の特徴】

20か月連続の前年同月比マイナスであった。

10月は、政府の景気調査に見られるように、デフレ懸念、雇用不安、所得減少などを背景とした消費者の買い控えと低価格志向が一層強まる中で、高額品を中心に一段と厳しい商況であった。また、台風18号の本州縦断や寒暖を繰り返す不安定な天候が影響して、最盛期を迎えた冬物商材の動きは鈍かったが、値頃品の拡大展開や催事の強化など各店の対策が下支えして、入店客数については微減(平均2~3%減)で推移している。

具体的な動向としては、前年に比べて土曜日が一日増加したこと、エコポイント制度の効果から家電が二桁増(11.3%)となったこと、正月おせちの早期受注が好調に推移したことなどプラス要素が見られた一方、ブランド衣料や特選雑貨などの苦戦で客単価が下落していること、改装工事による売場減少や前年の大型催事の反動減など特殊要因を抱える店があること等のマイナス要素が重なり、前月に比べ売上減少幅を広げる結果となった。なお、台風上陸の該当地区(関東・中部・東北)では、その影響を2%前後の押下げ要因と見ている。

【要 因】

(1) 天 候 : 気象庁発表「10月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 上旬には台風18号が本州を縦断し、下旬には台風20号が関東の南東海上を通過したため各地で暴風や大雨となった。気温は、月のはじめや中旬以降平年を上回った一方、中旬までは気温が低く、変動が大きかった。

(2) 営業日数増減 30.8日 (前年同月比他±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日 (" +1日/土曜1日増)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した: 9店、②変化なし: 20店、③減少した: 108店、④不明: 48店

(5) 10月歳時記(体育の日、旅行シーズン)の売上(同上)

①増加した: 2店、②変化なし: 20店、③減少した: 73店、④不明: 90店

(6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)

①増加する: 4店、②変化なし: 30店、③減少する: 87店、④不明: 64店

全国百貨店 売上高速報 2009年10月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	513,552,409	100.0	-10.5 (-12.1)
10都市	327,022,233	63.7	-10.9 (-12.7)
札幌	12,825,561	2.5	-6.9 (-16.1)
仙台	6,614,152	1.3	-12.3
東京	125,492,962	24.4	-13.1 (-14.2)
横浜	28,399,056	5.5	-7.6 (-11.9)
名古屋	30,813,702	6.0	-11.2
京都	20,387,232	4.0	-9.5
大阪	62,386,421	12.1	-9.9 (-13.1)
神戸	13,959,166	2.7	-8.4
広島	11,944,700	2.3	-8.8
福岡	14,199,281	2.8	-9.8
10都市以外の地区	186,530,176	36.3	-9.9 (-11.0)
北海道	3,395,289	0.7	0.8 (-16.3)
東北	10,510,245	2.0	-11.8
関東	89,083,629	17.3	-10.9
中部	15,011,739	2.9	-10.3
近畿	16,962,024	3.3	-8.8
中国	13,229,394	2.6	-9.1
四国	9,764,297	1.9	-9.6 (-14.3)
九州	28,573,559	5.6	-7.7 (-11.7)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	513,552,409	100.0	-10.5 (-12.1)
紳士服・洋品	40,027,536	7.8	-13.8 (-15.0)
婦人服・洋品	130,718,001	25.5	-13.5 (-14.8)
子供服・洋品	12,556,272	2.4	-15.5 (-16.1)
その他衣料品	15,812,083	3.1	-11.9 (-13.2)
衣 料 品	199,113,892	38.8	-13.6 (-14.8)
身のまわり品	62,591,833	12.2	-13.3 (-15.4)
化粧品	26,798,591	5.2	-5.9 (-7.1)
美術・宝飾・貴金属	23,310,576	4.5	-12.4 (-15.2)
その他雑貨	21,385,974	4.2	-8.7 (-11.3)
雑 貨	71,495,141	13.9	-8.9 (-11.1)
家 具	6,818,854	1.3	-17.2 (-18.2)
家 電	1,992,062	0.4	11.3 (8.0)
その他家庭用品	16,835,896	3.3	-7.9 (-9.6)
家 庭 用 品	25,646,812	5.0	-9.4 (-11.0)
生 鮮 食 品	28,595,919	5.6	-5.8 (-7.0)
菓 子	29,503,119	5.7	-4.1 (-5.3)
惣 菜	29,698,939	5.8	-7.1 (-8.0)
その他食料品	38,488,698	7.5	-4.6 (-6.4)
食 料 品	126,286,675	24.6	-5.4 (-6.7)
食 堂 喫 茶	13,854,127	2.7	-9.9 (-11.4)
サ ー ビ ス	5,841,206	1.1	-2.0 (-3.8)
そ の 他	8,722,723	1.7	-10.9 (-11.9)
商 品 券	14,965,895	2.9	-2.7 (-3.9)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | | |
|------------------|--------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -10.9% | (店舗数調整後／20か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -9.9% | (〃 ／28か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-10.9	-7.0	20か月連続マイナス
札幌	-6.9	-0.2	14か月連続マイナス
仙台	-12.3	-0.2	18か月連続マイナス
東京	-13.1	-3.3	20か月連続マイナス
横浜	-7.6	-0.4	15か月連続マイナス
名古屋	-11.2	-0.7	23か月連続マイナス
京都	-9.5	-0.4	14か月連続マイナス
大阪	-9.9	-1.2	20か月連続マイナス
神戸	-8.4	-0.2	19か月連続マイナス
広島	-8.8	-0.2	20か月連続マイナス
福岡	-9.8	-0.3	15か月連続マイナス
10都市以外の地区	-9.9	-3.6	28か月連続マイナス
北海道	0.8	0.0	5か月連続プラス*
東北	-11.8	-0.2	19か月連続マイナス*
関東	-10.9	-1.9	28か月連続マイナス
中部	-10.3	-0.3	19か月連続マイナス
近畿	-8.8	-0.3	19か月連続マイナス
中国	-9.1	-0.2	17か月連続マイナス*
四国	-9.6	-0.2	28か月連続マイナス
九州	-7.7	-0.4	26か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、9か月連続で全品目がマイナスとなった。雑貨はマイナス幅を縮めたが、他の4品目は先月より落とす結果となった。また、美術・宝飾・貴金属、惣菜が先月より改善する動きとなった。家電は11.3%と3か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-10.5	—	20か月連続マイナス
紳士服・洋品	-13.8	-1.1	19か月連続マイナス
婦人服・洋品	-13.5	-3.6	28か月連続マイナス
子供服・洋品	-15.5	-0.4	14か月連続マイナス
その他衣料品	-11.9	-0.4	20か月連続マイナス
衣料品	-13.6	-5.4	28か月連続マイナス
身のまわり品	-13.3	-1.7	26か月連続マイナス
化粧品	-5.9	-0.3	11か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-12.4	-0.6	32か月連続マイナス*
その他雑貨	-8.7	-0.4	23か月連続マイナス*
雑貨	-8.9	-1.2	20か月連続マイナス
家具	-17.2	-0.2	23か月連続マイナス
家電	11.3	0.0	3か月連続プラス
その他家庭用品	-7.9	-0.3	20か月連続マイナス
家庭用品	-9.4	-0.5	23か月連続マイナス
生鮮食品	-5.8	-0.3	9か月連続マイナス*
菓子	-4.1	-0.2	2か月ぶりマイナス*
惣菜	-7.1	-0.4	17か月連続マイナス*
その他食料品	-4.6	-0.3	2か月ぶりマイナス*
食料品	-5.4	-1.2	9か月連続マイナス
食堂喫茶	-9.9	-0.3	15か月連続マイナス
サービス	-2.0	0.0	7か月連続マイナス
その他	-10.9	-0.2	2か月連続マイナス
商品券	-2.7	-0.1	2か月ぶりマイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成21年10月 東京地区百貨店売上高概況

平成21年11月19日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,254億円余
2. 前年同月比	-13.1% (店舗数調整後/20か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-12.1%(88.7%) : 非店頭-20.4%(11.3%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 27店 (平成21年9月対比±0店)
5. 総店舗面積	946,658㎡ (前年同月比:-3.9%)
6. 総従業員数	20,429人 (前年同月比:7.5%)
7. 3か月移動平均値	3-5月 -12.9%、4-6月 -12.4%、5-7月 -12.9%、 6-8月 -11.9%、7-9月 -11.6%、8-10月 -11.4%

[参考] 平成20年10月の売上高増減率は-8.6% (店舗数調整後)

【10月上の特徴】

- (1) 主力の衣料品は消費者の節約志向や天候不順から全般的に苦戦を強いられたが、下旬からは冷え込みの影響もあって重衣料に動きが見られた。
- (2) 東京は2度にわたる台風の影響を受けたが、入店客数については、土曜日が前年に比べ1日増えたことや、都内各店で様々なセールや文化催事などイベント強化を図った結果、若干の減少に留まった。
- (3) エコポイント制度の効果から、東京地区の家電売上は前年比3割増と大きな伸びを示しており、中には倍増した店も出ている。また、エコポイント交換対象商品の共通商品券は好評で、10月の商品券発行高を4割増と押し上げた。
- (4) 昨年夏以降減少を続けていた外国人売上は、アジア経済の回復を背景に10月に入って前年をクリアした店が多く出ており、増加傾向を示し始めた。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 1店、②変化なし: 2店、③減少した: 17店、④不明: 2店
- (3) 10月歳時記(体育の日、旅行シーズン)の売上(同上)
 - ①増加した: 0店、②変化なし: 2店、③減少した: 10店、④不明: 10店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 0店、②変化なし: 6店、③減少する: 14店、④不明: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2009年10月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	125,492,962	100.0	-13.1 (-14.2)
紳士服・洋品	11,747,145	9.4	-15.4 (-15.9)
婦人服・洋品	29,873,288	23.8	-17.2 (-18.1)
子供服・洋品	2,367,145	1.9	-17.0 (-17.1)
その他衣料品	3,497,891	2.8	-9.4 (-10.7)
衣 料 品	47,485,469	37.8	-16.2 (-17.0)
身のまわり品	17,037,397	13.6	-14.5 (-16.3)
化粧品	6,597,373	5.3	-9.7 (-10.1)
美術・宝飾・貴金属	6,404,336	5.1	-16.6 (-17.7)
その他雑貨	6,987,205	5.6	-7.0 (-7.4)
雑 貨	19,988,914	15.9	-11.1 (-11.8)
家 具	1,877,999	1.5	-24.0 (-24.8)
家 電	839,763	0.7	31.1 (31.0)
その他家庭用品	4,189,516	3.3	-10.1 (-10.9)
家 庭 用 品	6,907,278	5.5	-11.1 (-11.9)
生 鮮 食 品	4,487,766	3.6	-7.0 (-8.1)
菓 子	6,834,826	5.4	-7.5 (-8.8)
惣 菜	6,215,056	5.0	-10.7 (-11.7)
その他食料品	8,602,537	6.9	-5.9 (-7.7)
食 料 品	26,140,185	20.8	-7.7 (-9.0)
食 堂 喫 茶	3,217,882	2.6	-12.6 (-14.0)
サ ー ビ ス	2,052,319	1.6	10.9 (10.8)
そ の 他	2,663,518	2.1	-29.4 (-29.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	3,893,598 千円	37.4 (33.5)
従 業 員 数	20,429 人	7.5
店 舗 面 積	946,658 m ²	-3.9

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、13か月連続で全品目がマイナスとなった。しかし、5品目の中で雑貨が先月より改善する動きとなり、家庭用品も同水準となった。また、その他衣料品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、その他家庭用品が先月より改善する動きとなった。家電が全国同様3か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-13.1	—	20か月連続マイナス
紳士服・洋品	-15.4	-1.5	19か月連続マイナス
婦人服・洋品	-17.2	-4.3	15か月連続マイナス
子供服・洋品	-17.0	-0.3	14か月連続マイナス
その他衣料品	-9.4	-0.2	18か月連続マイナス
衣料品	-16.2	-6.4	15か月連続マイナス
身のまわり品	-14.5	-2.0	19か月連続マイナス
化粧品	-9.7	-0.5	11か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-16.6	-0.9	14か月連続マイナス*
その他雑貨	-7.0	-0.4	17か月連続マイナス*
雑貨	-11.1	-1.7	18か月連続マイナス
家具	-24.0	-0.4	19か月連続マイナス
家電	31.1	0.1	3か月連続プラス
その他家庭用品	-10.1	-0.3	17か月連続マイナス
家庭用品	-11.1	-0.6	17か月連続マイナス
生鮮食品	-7.0	-0.2	4か月連続マイナス*
菓子	-7.5	-0.4	9か月連続マイナス*
惣菜	-10.7	-0.5	19か月連続マイナス*
その他食料品	-5.9	-0.4	2か月ぶりマイナス*
食料品	-7.7	-1.5	13か月連続マイナス
食堂喫茶	-12.6	-0.3	12か月連続マイナス
サービス	10.9	0.1	12か月連続プラス
その他	-29.4	-0.8	2か月連続マイナス
商品券	37.4	0.7	3か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田・佐藤まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>